

新規追加・変更・削除などがあつた事業一覧(抜粋)

I 人と人がつながり、安心・安全に暮らせるまち

◆人と人がつながり支え合うまちづくり

地域の中で人と人とのつながりを大切に、区民が安心していつまでも元気で健康的に生活できるまちを目指します。

(1)子どもたちの健やかな育み

- 子育てしやすい環境を整備するため、保育所等の施設や多様な保育サービスの充実を図るとともに、子育て支援センター、児童センター、児童館を活用した子育て支援の輪をさらに拡げていきます。

事業番号	事業名	変更内容	変更理由	担当課
1	子育て支援事業	指標を「講座の参加者数」から「講座の実施回数」に変更	当面、新型コロナウイルス感染症対策で講座の定員を縮小する必要があるため、指標を実施講座数に変更	健康福祉課
2	子育て情報の配信事業	【事業概要】 SNS(LINEアプリ)により、妊娠週数や月齢に応じたタイムリーな子育て支援情報を配信します。 【事業内容】 にっこはぐぐみLINKの運用 【指標】 累計登録者数4,360人	新規事業	健康福祉課

- 公民館と青少年育成協議会など地域の関係機関団体が連携を深め、地域ぐるみで青少年の健やかな成長を見守るためのボランティアスタッフの養成、研修、交流を進めます。
また、福祉事務所は、子どもたちが社会で生き抜く力を身に付け自立できるよう、学習機会を提供するなど学習環境が改善するよう支援します。

事業番号	事業名	変更内容	変更理由	担当課
5	青少年の居場所づくり事業	指標を「実施」から「青少年の居場所及び学習スペースの開放」に変更し、5公民館で実施	最近、居場所より学習スペースの面が強くなってきているため、学習スペース開放の文言を追加 数値目標を実施公民館数として具体化	坂井輪地区 公民館
7	西区NEWスタイル ウォーキング	【事業概要】 安心して健康づくりが進められるよう、新たにウォーキングの取り組みを行います。 【事業内容】 ウォーキングの基本や注意点をまとめたDVDの作成、環境整備やイベントを実施します。 【指標】 ・ウォーキングのためのDVDの作成・HPへの動画掲載と広報（健康福祉課） ・遊歩道の距離標設置（建設課） ・西区ウォーク(イベント実施)（地域課）	新規事業	健康福祉課 建設課 地域課

(3)高齢者をともに支え合い、助け合う仕組みづくり

- 保健師などによる高齢者への訪問を継続実施するとともに、地域団体、社会福祉協議会、地域包括支援センター等と協働で、地域で高齢者を支える活動に取り組みます。

事業番号	事業名	変更内容	変更理由	担当課
1	高齢者孤立防止訪問事業	指標を「対象者世帯の全ての状況把握と支援」から「対象者への保健指導(訪問・電話等)」へ変更	孤立を防ぐとともに健康課題に着目した重症化予防につなげるため。	健康福祉課

II 都市と農村が融合するまち

◆農産物のブランド化と商店街の活性化

良質で魅力的な農産物の生産を進め、特産物のブランド化を推進します。また、特産物を県内外に発信し、さらに農商工連携により付加価値を高めるとともに、商店街の活性化にもつなげていきます。

(1)地場産農産物の消費拡大とブランド化

- 地場産農産物の知名度向上を図り消費拡大を進めるとともに、くろさき茶豆やいもジェンヌ(さつまいも)などの特産農産物のブランド化推進のため、県内外に情報を発信します。

事業番号	事業名	変更内容	変更理由	担当課
1	特産農産物魅力発信・ブランディング事業	指標を「首都圏向けPR・情報発信」から「県内外向けPR・情報発信」に変更	新型コロナウイルス感染防止対策を踏まえ、マスメディアやSNSを活用した全国に向けた情報発信に取り組む	農政商工課

(2) 農商工連携の推進と商店街の活性化

- 農商工連携によるくろさき茶豆やいもジェンヌ(さつまいも)などの特産農産物の高付加価値化を進め、商店街の活性化にもつなげます。また、「特区」を活用した6次産業化を推進します。

事業番号	事業名	変更内容	変更理由	担当課
2	農商工連携事業	事業内容に「くろさき茶豆」「いもジェンヌ」公式ホームページの開設・運用を追加 指標としてホームページアクセス数3,000(R4は3,300)を設定	PRの推進とともに、今後は購買機会につなげる取組を進めていくため	農政商工課

◆都市と農村の交流

都市と農村が融合する西区の特性を活かして、生産と消費をつなぎ、さらなる一体感の醸成を図ります。

(1) 生産者と消費者の交流

- 農業体験などにより生産者と消費者が直接触れ合う機会を提供し、相互理解を深めるとともに生産と消費をつなぐ地産地消を推進します。

事業番号	事業名	変更内容	変更理由	担当課
	西区deマルシェ	削除	新型コロナウイルス感染拡大防止を踏まえ、R2は事業を中止 R3以降も事業実施が困難	農政商工課

Ⅲ だれもが学び合える学術と文化のまち

◆だれでも学び合える環境づくり

だれもがいつでも学び合える環境や、学びを活かして地域に貢献できる環境づくりを推進します。

(1) 多様な学びの場づくり

- 地域の実情や市民の学習ニーズの把握に努め、各世代の学習活動を支援するさまざまな学習の場を提供していきます。また、市民団体等との連携を推進します。

事業番号	事業名	変更内容	変更理由	担当課
1	家庭教育振興事業	指標を「実施」から「区内4公民館で各種家庭教育学級の実施」に変更 目標値は16事業	数値目標を具体的に数値化	坂井輪地区公民館
2	地域コミュニティ活動活性化支援事業	指標を「実施」から「区内4公民館で地域コミ協と連携した講座の実施」に変更 目標値は20事業	数値目標を具体的に数値化	坂井輪地区公民館

- 新潟大学や新潟国際情報大学などとの連携を深め、さまざまな学習情報の提供や気軽に参加できる学習の場の確保など、学習活動に参加できる環境づくりを行うとともに、地域と学生をつなぐ事業を進めるなど、取組の幅を広げていきます。

事業番号	事業名	変更内容	変更理由	担当課
3	大学等連携事業	指標を「実施」から「大学との連携事業、大学生・留学生と地域住民の交流事業の実施」に変更 目標値は3件	数値目標を具体的に数値化	坂井輪地区公民館

- 区を中心図書館である坂井輪図書館を核として、区内の図書館・地区図書室、さらには区外の図書館とも連携し、西区独自の郷土・行政資料を含めた資料を充実するとともに、レファレンス(調査・相談)機能を強化し、地域に愛される図書館づくりに努めます。

事業番号	事業名	変更内容	変更理由	担当課
	子どもの読書環境の整備事業	削除	新型コロナウイルス感染症予防のための新しい生活様式が求められる中で、参加者人数を目標値とする取組は現実的ではないため削除する	坂井輪図書館
5	子どもの読書環境の整備事業	【事業概要】 児童書の展示を積極的に行い、子どもたちがたくさん本に触れる機会を増やします。 【事業内容】 児童書の貸出冊数を増やす 【指標】 児童書の貸出冊数 185,000冊(R4は185,500冊)	【新規】 令和2年度に策定された第二次新潟市立図書館ビジョンの評価項目に合わせて追加	坂井輪図書館
6	図書館サービス向上事業	指標を「共催・協働事業の件数」から「資料のテーマ展示の回数」に変更 目標値は80回(R4は85回)	令和2年度に策定された第二次新潟市立図書館ビジョンの評価項目と合わせて変更	坂井輪図書館

◆文化の継承・創造とスポーツ振興

地域の文化や歴史を大切に、新たな文化の創造を支援するとともに、スポーツの振興を図ります。

(1)文化の継承と創造

- 地域文化や歴史を守り、活かすために、発表の場の提供や、情報の発信、地域文化の掘り起しを支援しながら、歴史文化の継承を進めます。また、新たな文化の創造を支援するため、地域での自主的な活動を活性化し、西区の芸術文化を区内外に発信するとともに、区民の芸術文化意識の向上を図ります。

事業番号	事業名	変更内容	変更理由	担当課
1	西区アートプロジェクト 音楽・造形	音楽イベントの開催について、指標から「ワークショップの開催」を削除	大学連携の実態に合わせて見直し。感染症対策を取りながらの実施が困難となり、代替手法についても検討が必要	地域課

IV 豊かな自然と快適な住環境を大切にすまち

◆自然環境の保全と活用

ラムサール条約湿地である佐潟をはじめ、河川や海岸などの美しい景観を未来に引き継いでいきます。また、その自然を活かした観光や魅力あふれるスポットについて情報発信することにより交流人口を増やし、活力のあるまちを目指します。

(2)保安林の保全とボランティア育成

- 松くい虫被害を最小限に抑えるため、関係機関との連携を強化しながら、薬剤散布による防除や伐倒駆除を実施していきます。また、保安林ボランティア育成講座等を開催しボランティア団体の育成を進めます。

事業番号	事業名	変更内容	変更理由	担当課
2	保安林ボランティア活動支援	指標を「保安林ボランティア活動団体数(コミ協等含む)」から「森林整備活動補助金等の活用団体数(コミ協等含む)」に変更 目標値は4団体(R5は5団体)	令和2年度に保安林ボランティア団体の活動への補助金が創設され、この補助制度の活用が団体の活動の継続や活性化につながるため。	農政商工課

(4)環境教育の推進

- 学校と連携しながら、小・中学生が環境について学習できる機会をより充実させ、未来を担う子どもたちの環境保全・保護に対する関心や意識を育みます。

事業番号	事業名	変更内容	変更理由	担当課
	西川流域子ども環境サミット	削除	西川沿線の対象校である笠木小、小瀬小両校が複式学級となるため、今後事業への参加が難しい。	区民生活課